



めざそう！食肉の安全・安心！！

検査所だより

2017. 3 (vol. 59)

宮城県食肉衛生検査所

開かれた食肉衛生検査所へ！私たちは食肉衛生検査情報の還元を推進し、開かれた食肉衛生検査所を目指しています。生産者の方も食肉関連事業者の方も気軽に食肉衛生検査所をご利用ください。

One health(ワンヘルス)の取り組み

「ワンヘルス」という考え方は、人および動物の健康とそれを取りまく環境は密接に結びつき、どれひとつも欠かすことができないものから「世界は一つ、健康は一つ (One World, One Health)」というグローバルな認識から生まれた理念であり、それぞれを担う関係者が緊密な協力関係を築き、これらの健康を維持・推進していくとするものです。

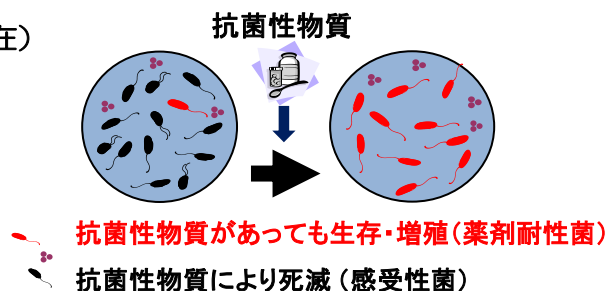
WHO（世界保健機関）の報告では、過去10年間にわたって人が感染した新しい病気の約75%は、動物または動物産品由来の病原体が原因であり、皆様ご存じのとおり高病原性鳥インフルエンザ等の対策は急務となっています。

薬剤耐性菌（薬が効かない菌）についても世界的な問題となっており、その対応にはワンヘルスによる取り組みが必要とされています。抗菌性物質は、疾病の治療を目的とする動物用医薬品や、飼料の栄養成分を有効利用するための飼料添加物として、家畜の健康を守り、畜産物を安定して生産するために重要となります。しかし、抗菌性物質の適正使用を怠ると薬剤耐性菌が生き残って増えることがあり、抗菌性物質の効きが悪くなることがあります。また、食品などを介して薬剤耐性菌が人に伝播した場合、人の治療に使用される抗菌性物質が十分に効かない可能性もあります。

食肉衛生検査所では、安全な食肉が消費者に供給されるため、抗菌性物質の残留検査や薬剤耐性菌の調査を行っています。これらのデータについては、家畜衛生・公衆衛生上のリスクを軽減されるよう生産者にフィードバックを行っています。農場におけるリスク管理を行う生産者の皆様には、適正な抗菌性物質使用を徹底し、健康な家畜を搬入することをお願い致します。

H28 年度 抗菌性物質残留検査結果 (2月末現在)

畜種	検査頭数	陽性件数		
		腎臓	肝臓	筋肉
牛	167	0	0	0
豚	829	1	1	1
鶏	2082	0	0	0



抗菌性物質残留検査は多くの生産農場からの出荷畜を網羅できるように実施しています。

参考資料:「ワンヘルスについて」吉村史朗 日獣会誌65 238~244
農林水産省ホームページ「抗菌性物質」

「と畜検査結果」を知ることが出来ます

検査所では、食肉センターでと畜された家畜の内臓・枝肉の検査結果について、生産者または出荷者へデータの提供を行っています。健康に見える家畜でも、と畜検査によって症状にあらわれない病気の兆候を察知できる場合もあります。家畜の健康状態を把握するために是非ご活用下さい。詳しくは検査所ホームページの「提供可能なデータと各種申請」をご覧ください。直接窓口までお越し下さい。手数料は無料です。

申請書を提出されてから2週間後に、と畜検査簿をお渡しできます。

と畜検査簿

動物種	性別	年齢	その他	検査日時	検査結果	検査項目											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雄	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
豚	雌	2019/5	検査	2019/5	2019/5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

【と畜検査疾病コラム】

増えています！豚丹毒

豚丹毒は、豚丹毒菌の感染によって起こる病気で、と畜検査で発見された場合、と殺禁止または全部廃棄処分となります。四つの病型（敗血症型・蕁麻疹型・心内膜炎型・関節炎型）に分けられますが、と畜検査で発見されるのは大部分が関節炎型です。人獣共通感染症でもあり、人に感染すると皮膚に急性炎症が起こる類丹毒を引き起こすこともあります。豚丹毒の発生件数は近年全国的に増加しており、その原因としてワクチン接種率の低下や表面防御抗原（感染するときに関係する）遺伝子の変異の影響が報告されています。この**変異型豚丹毒菌**は、**強毒性**であるため重篤な敗血症型を引き起こしやすく、また関節炎型などの慢性型にも移行しやすいとされています。当検査所でも発見件数は年々増加しており、今年度の調査でこの変異型が県内にも浸潤していることが判明しました。しかし、従来の豚丹毒菌と同様に**ワクチン接種で防御が可能**です。治療にはペニシリン系薬剤が有効です。発症した場合は管理獣医師に相談のうえ、適切な治療を行い休業期間を終えてから出荷しましょう。



ダイヤ形の皮膚病変
蕁麻疹型

出典：マクロ病理学カラーアトラス
全国食肉衛生検査所協議会 編

家畜は綺麗にしてから搬入して下さい



○解体時の枝肉汚染を防ぐ為に、出荷前には体表の汚れを綺麗にして下さい。

○牛などの反芻動物では、健康にみえても、腸管出血性大腸菌0-157等を腸管内に保菌していることがあります。糞便や体表の鏝には、これらの病原菌が沢山います。

宮城県食肉衛生検査所

〒987-0311 宮城県登米市米山町字桜岡今泉314
電話：0220-55-3752
ファックス：0220-55-4105
電子メール：shmeat@pref.miyagi.lg.jp
ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-meat/



QRコードから検査所HPにアクセスできます。

